

# 群馬県がん患者団体連絡協議会 ニュースレター♪

2007年10月1日 第4号

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団



## がん連協 がん征圧月間共同キャンペーン 発足セレモニー 開催しました



去る9月23日(日)、群馬県庁1階県民ホール「2007ぐんま食の安全フェア」にて群馬県がん患者団体連絡協議会による初の共同キャンペーン・発足セレモニーが実施されました。

前日から前橋は大雨が降り、「明日はお天気になりますように…」と祈ったものの、当日は朝から雨模様(泣)。集合していただいたり移動するのに大丈夫かと心配していましたが、「おはようございます!」という元気そうな会員のみなさんの声を聞いた途端、安心しました。

群馬大学の学生さんや群馬県がん看護研究会に所属される医療従事者のみなさんも多く集まっていたさき、午前の部の開始です。



県民健康科学大学 狩野先生の力作!  
布製の横断幕です。



こちらは事務局が注文した看板屋さんの力作(?!)各会の行事にお使い下さい。



雨の中 お集まりいただきありがとうございます。  
今日は初の共同キャンペーンです。  
会員同士 親睦を深めて楽しく啓発しましょう。  
いざ出陣です!!



この日用意したグッズは啓発ボールペン2,000本、がん読本500部、乳がんのしおり500部、ティッシュ1,000個、がん連協の案内1,000部  
各会の会報誌もたくさん持参していただきました。



ひまわりの会のお父さん、お母さんは配布の達人。熟練の技で、あっという間に啓発グッズを来訪者に配ってくれます。事務局がのんびりしていたら「終わったよ〜。次は?」わー、ちょっと待って下さい(汗)

### キャンペーン(第1班) 午前10時~11時半

- ◇ひまわりの会 ◇生菓の会 ◇"がんばってるね"ひまわりの会
- ◇群馬ホスピスケア研究会 ◇群馬がん看護研究会

群馬あかぎ互療会の会員さんも参加して下さいました。





# 発足セレモニー

発足セレモニーは同日  
11時45分～12時15分  
群馬県女性会館で行われました。



当協議会発足のために尽力いただき常に活動を支援下さっている 群馬大学医学部 保健学科教授の神田清子先生です。

この日の活動にも群馬大学の学生ボランティアを募っていただいたり、地域貢献プロジェクトからお弁当を出していただきました。

がん連協の会長でもあり、あけぼの群馬会長の本田さん。お仕事等で忙しい中、がん連協のPRのため、新聞等の取材も積極的にこなして下さいています。



ひまわりの会会長 一柳さん

会員の交流や親睦に努め、社会に向けてがん早期発見の大切さを発信しています。ご自身は作家としても活躍されています。

生菜の会 のとりまとめをして下さっている岡庭さん



”がんばってるね”ひまわりの会の代表 須川さん

群馬大学医学部附属病院 医療福祉相談部の看護師長でもあり、いろいろなアドバイスをいただいています。

医師も参加する患者会で東洋医学も取り入れた治療を共に考えているそうです。ご自身もこれから気功をご指導されるとのこと。



1. 2の3で温泉に入る会の佐藤さん

依代表が全国的に活躍されている中、群馬県の活動を進めて下さっています。キャンペーンではおそろいのエプロン、素敵でした。



群鈴会の鯉登さん

群鈴会は定期的に機能訓練などの熱心な活動を行っているそうです。

いつも優しそうな笑顔にこちらがホッとします。



群馬あかぎ互療会の大島さん

ユーモアたっぷりのごあいさつに会場からも和やかな笑い声が。この日は午前も午後もお手伝いをして下さいました。

また 当日 午前の部のキャンペーンには群馬ホスピスケア研究会の会員さんがお手伝いして下さいました。他のご予定が入っていた中 駆けつけて下さった「笑みの会」のみなさん(ご紹介できなくて申し訳ありませんでした…) 今回は予定があつて次回はずい、と言って下さっている「ポピーの会」のみなさん。

この日、隣の「骨髄バンク」で啓発活動をされていた塩原さんも急遽 本協議会にお知り合いの看護師さんがいらっしやったとのことで参加していただきました。



# 午後の部

午後のはのぼり旗も掲げられ、啓発グッズを配布しながら、乳がんの触診モデルに多くの来訪者が集まり自己検診法を存分にPRすることができました。

本田会長さんはとても呼び込み上手。旗を片手に次々と乳がんモデルの所に人を連れてきてくれます。「ご主人も来て来て」とご夫婦一緒に声をかけていました。予想に反して若い世代の方が抵抗なく触診してくれて、年配のお父さんは恥ずかしそうに後ろで見守っていました。こういう自己検診を意識してくれる若い世代の人が増えたらいいのだろうな…と思い、普段、会員さんが「学生に向けて、がん早期発見・早期治療の教育をしたい」という意見を実感しました。

会員同士で記念撮影をしたり、話をしたり、とても和やかに、にぎやかに時間が過ぎました。



ブースにはたくさんの方が集まってきてくれました。

各会の会報誌も持参していただき、興味深そうに手に取る人もいました。



乳がんの触診モデルに実際に触れてもらいました。お母さんと娘さん ご夫婦 仲良しのふたり 子どもたち 忘れないで自己検診をして下さい。

今年度のがん征圧スローガンは「まず受けて 次に伝える がん検診」です。



いつもがん連協がお世話になり今回も準備から、お弁当の手配、当日のキャンペーン、セレモニーでご活躍いただきました。

県民健康科学大学の狩野先生  
群馬大学医学部の武居先生、堀越先生

また群馬県がん看護研究会に所属される県内医療機関のみなさま、群馬大学の学生ボランティアのみなさま ありがとうございます。

参加して下さったみなさん  
お疲れさまでした。  
ゆうま君もずっと応援しています。



**キャンペーン(第2班) 午後13時~14時半**  
 ◇あけぼの群馬 ◇笑みの会 ◇1. 2の3で温泉に入る会  
 ◇ポピーの会 ◇群馬あかぎ互療会 ◇群鈴会 ◇群馬がん看護研究会

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】  
 〒371-0005 前橋市堀之下町16-1  
 (財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課  
 電話027-269-7811  
 FAX027-269-8928  
 E-mail soumu3@gunma-hf.jp



編集後記  
 暑い暑い夏が過ぎました。9月23日のがん征圧月間共同キャンペーンでは各会、関係者の皆様にご協力いただき無事に実施することができました。がん連協が当初の目的を果たしていけたらうれしい…と思いますのでこれからもよろしくお願いします。  
 編集担当 荒木 美保